

<イエメン事業> 「命を繋ぐ食糧提供は感染予防対策とともに」

ICAN イエメン事務所
Afrah Yahya Alqazahi

～プロフィール～

国際協力と人道支援の
修士号を取得後、2016
年10月より ICAN イエ
メン事業に従事。

イエメンでは紛争が激化し6年が経とうとしています。戦闘や空爆は今も毎日のように起こっています。そのような状況下での昨今の新型コロナウイルスの流行は、これまで危機的状況下にあったイエメンの人びとにとって、さらに生活を厳しくする要因となってしまいました。長年の紛争により、国内の医療施設は約半分しか機能しておらず、きれいな水や医薬品も限られています。そして、なによりイエメンは深刻な食糧不足に直面しており、紛争により収入を失った人びとは1日3食を確保することさえも難しい状況にあります。十分な食事をとることができず、健康状態への影響が懸念されている中で、新たに新型コロナウイルスの感染という危険にさらされているのです。イエメンでは正式に発表されている感染者数は少ないものの、一方で自宅の近所では新型コロナウイルスに似た症状で5人亡くなったという話も耳にします。食糧や医療の不足に加え、こうした情報の不一致も、人びとが不安の中で暮らすことへと繋がっています。

イエメン南部にあるタイズ州は、政府軍と反政府軍間の戦闘の最前線であり、紛争の影響により食糧を必要としている世帯が特に多く暮らしています。アイキャンでは12月下旬、タイズ州において約2,200世帯に対し食糧提供を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今回の提供では感染症予防対策も課題としてあがりまし。例えば、密集を避けるため住民が提供場所へ集まる時間を指定することで、一度に集まる世帯数を少なくすることや、待ち時間を減らすことなど、これまでに増して細かな気配りが必要となりました。また、提供当日には訪れた住民にマスクを配布し、入口での手の消毒と検温を徹底しました。予防に対する意識が低い人も多く、啓発を行う必要性を感じたため、感染予防について呼びかけるスタッフも配置しました。今回感染が懸念されている中



での提供実施には不安もありましたが、提供対象者である住民からは「これで家族の食事を確保することができる、本当に感謝している」という声が聞かれました。このような提供対象地から受ける報告の中で食糧を受け取った住民の人びとの安心した様子が伝わり、本当に必要としている人へと届けられたのだと実感します。

イエメンでの紛争の被害は今や「世界最悪の人道危機」と言われています。そのようなことをニュースで聞くたびに胸が痛みますが、だからこそ活動が必要とされているのだと改めて感じ、厳しい環境で活動をする上での後押しとなっています。そして、このような活動を続けていくことができるのは、寄付者様からの応援があってこそです。活動にご協力くださっている日本の方々に感謝申し上げます。アイキャンではタイズ州において1月と2月にも提供を行い、最も必要としている人びとのもとへ食糧を届けていきます。

フィリピン事業

12月4日/マニラ首都圏(フィリピン)

カリエカフェ再開へ向けた技術訓練を実施

新型コロナウイルスなどの影響もあり店舗を閉鎖しているカリエカフェが、オンラインを活用した販売方法で再始動するため、新商品製作の技術訓練が行われました。お土産にも購入いただけるよう、フィリピンの特産品であるバナナチップス作りに挑戦したメンバーは、「もっとバナナ薄く切らないとパリパリにならないことを学びました」と試行錯誤しました。

ソマリランド事業

12月/ハルゲイサ(ソマリランド)

干ばつ地域で、貯水池の建設を開始しました

ソマリランド首都のハルゲイサ近郊 Gumar 地区において、住民参加型の貯水池の建設が開始されました。昨年度建設した2ヶ所に加え、今年度も現地での提携団体と連携を市、追加で2ヶ所へ貯水池を建設する予定です。Gumar 地区の住民より、「貯水池は地域の人びとの生活に役立てることができそうです。とても感謝しています」との声が届きました。

ボランティア・寄付推進事業

12月26日/名古屋(日本)

街頭募金の呼びかけに15名が参加

フィリピンで活動中の「新型コロナウイルスの影響で困窮する世帯への物資配布」の活動資金調達として、15名のボランティアさんが街頭募金に参加しました。感染対策のため、2つのグループに分かれて呼びかけを行い、約7万円が集まりました。参加者からは「寒くて大変だったけど、応援の声もたくさんもらい嬉しかった」との感想が聞かれました。

ボランティア・寄付推進事業

12月/名古屋(日本)

書き損じハガキがたくさん届きました

アイキャンでは、書き損じハガキや未使用切手を収集し、換金して活動資金へ活用する取り組みをしています。12月には、年賀状などで書き損じた多くのハガキが事務所へ寄せられました。同封のお手紙には「応援しています」「困っている子どもたちの役に立てばと願ってお送りします」など温かいお言葉をいただきました。書き損じハガキは引き続き大募集中です！